嘆きの天使（1930）

DER BLAUE ENGEL

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 ドイツ
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1931/05
公開情報 劇場公開
リバイバル 1981/11［大映インターナショナル］

【解説】

邦題の勝利。ディートリッヒの脚線美が男どもに永遠のため息をつかせるとき、青い天使は“嘆き”へと変わる。ハインリッヒ・マンの『ウィンラート教授』が原作（製作側が、弟でノーベル賞作家のトーマス・マンの作品と勘違いし、企画を通したという逸話がある）。学生に嫌われる横暴な高校教師（ヤニングス）が、教室で見つけたブロマイドの踊り子に意見しにキャバレーに行ったのが運の尽き。彼女、ローラの“脚”に魅了された彼は、通いつめた挙げ句、彼女と結婚。道化師となって一座と共に旅回りを続け、再び、元のハンブルグの町に戻って皆の嘲笑を買う。残酷な話である。しかし、それは真実不幸なのか。堕天使の美しさに耽溺した、当然の報いではないのか。ディートリヒの歌う主題歌“Falling In Love Again”の歌詞がまさにそれを言い当てている。パラマウントとウーファーの提携作。オーストリア移民のアメリカ監督（スタンバーグ）が、ドイツ美の真髄と巡り合い、それを世界に君臨する宝石にまで磨き上げた。以後、３０年代の前半を通じて、この黄金コンビはハリウッドで大輪の幻花を咲かせることになる。

【クレジット】

監督	ジョセフ・フォン・スタンバーグ	Josef von Sternberg
製作	エリッヒ・ポマー	Erich Pommer
原作	ハインリッヒ・マン	Heinrich Mann
脚本	ロベルト・リーブマン	Robert Liebmann
撮影	ギュンター・リター	Gunther Rittau
音楽	フリードリッヒ・ホレンダー	Friedrich Hollander
出演	エミール・ヤニングス	Emil Jannings
	マレーネ・ディートリッヒ	Marlene Dietrich
	クルト・ゲロン	Kurt Gerron
	ハンス・アルベルス	Hans Albers

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.